

京都市告示第 435 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する条例に基づき、平成 21 年 4 月 1 日から同年 9 月 30 日までの期間における京都市公営企業の業務状況を公表します。

平成 22 年 2 月 24 日

京都市長 門 川 大 作

平成21年度前期京都市病院事業業務状況

1 事業の概況

当期の病院事業においては、引き続き、患者サービスの向上、病床の有効活用や事務の効率化及び救急患者の積極的な受入れなど経営改善に努めましたが、平成21年5月に新型インフルエンザが発生したことにより、入院を中心として多大な影響を受けました。

一般診療関係では、入院患者数は、前年度同期に比べ延べ1,736人（2.1パーセント）減少し、延べ80,107人となり、1日平均では8人減少し、439人となりました。また、外来患者数は、前年度同期に比べ延べ451人（0.29パーセント）減少し、延べ154,105人となり、1日平均では17人減少し、1,236人となりました。

一方、感染症診療では、入院患者数は、前年度同期に比べ延べ106人増加し、延べ160人となりました。

診療収入は、入院収益が34億6,454万円、外来収益が13億3,083万円となり、前年度同期に比べ、入院収益で新型インフルエンザ患者受入の影響で1億5,513万円（4.3パーセント）の減収、外来収益で4,523万円（3.5パーセント）の増収となり、診療収入全体では1億990万円（2.24パーセント）の減収となりました。

当期における病院事業の患者数及び収入額は、次のとおりです。

患者数及び収入額

項目 月別	入院		外来		収入額合計
	患者数	収入額	患者数	収入額	
平成21年	人	千円	人	千円	千円
4月	13,659	528,926	25,330	216,747	745,673
5月	12,760	529,768	23,530	204,082	733,850
6月	12,802	577,178	25,727	225,412	802,590
7月	13,464	619,924	27,463	231,735	851,659
8月	14,368	627,416	26,135	228,100	855,516
9月	13,206	581,323	25,920	224,756	806,079
合計	80,259	3,464,535	154,105	1,330,832	4,795,367
1日平均	439	18,932	1,253	10,820	29,752
前年度同期1日平均	447	19,780	1,236	10,285	34,807

備考1 営業日数は、入院 183 日、外来 123 日です。

2 入院の患者数及び収入額は、一般診療と感染症診療の合計です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	5,608,424	医 業 収 益	4,866,258
給 与 費	3,354,074	入 院 収 益	3,464,535
材 料 費	1,384,668	外 来 収 益	1,330,832
経 費	857,657	そ の 他 医 業 収 益	70,891
研 究 研 修 費	12,025	医 業 外 収 益	111,555
医 業 外 費 用	240,005	受 取 利 息 配 当 金	1,008
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	121,093	そ の 他 医 業 外 収 益	110,547
院 内 保 育 所 運 営 費	51,139	当 期 純 損 失	870,616
雑 損 失	66,015		
雑 支 出	1,758		
合 計	5,848,429	合 計	5,848,429

備考1 当期は、減価償却費を計上していません。

2 当年度減価償却予定額は、6億994万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	7,916,901	流 動 負 債	720,690
有 形 固 定 資 産	7,636,361	未 払 金	687,761
無 形 固 定 資 産	540	預 り 金	1,429
投 資	280,000	預 り 有 価 証 券	31,500
流 動 資 産	3,211,075	資 本 金	10,616,200
現 金 預 金	1,194,054	自 己 資 本 金	3,894,282
未 収 金	1,809,818	借 入 資 本 金	6,721,918
貯 蔵 品	162,530	剰 余 金	△ 208,914
前 払 費 用	147	資 本 剰 余 金	791,890
前 払 金	13,026	欠 損 金	1,000,804
保 管 有 価 証 券	31,500		
合 計	11,127,976	合 計	11,127,976

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、157億8632万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政状況を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
千円	千円	千円	千円
7,135,467	0	413,549	6,721,918

平成21年度前期京都市病院事業業務状況（京北病院）

1 事業の概況

当期の病院事業（京北病院）においては、病院と4つの診療所、訪問看護ステーションが一体となって、高齢者を中心とする地域住民が必要とする保健・医療・福祉サービスの提供に努めました。しかしながら整形外科の常勤医師が確保できていないなど、厳しい状況が続いています。

診療関係では、入院患者の一般病床では延べ4,860人、療養病床では延べ3,905人で、全体で延べ8,765人となり、前年度同期に比べ延べ34人（0.4パーセント）の減少、また、1日平均では前年度同期と同様の48人となりました。

一方、病院の外来患者数は延べ15,992人、診療所の外来患者数は延べ1,373人、更に訪問看護患者数の延べ1,897人を合わせた全体で延べ19,262人となり、前年度同期に比べ延べ1,520人（7.3パーセント）の減少、1日平均では10人減少し157人となりました。

診療収入は、入院収益が1億6,894万円、診療所収益及び居宅サービス事業収益を含めた外来収益が1億1,303万円となり、前年度同期に比べ、入院収益で2,770万円の減収、外来収益は平成20年8月以降の院外処方の実施などにより5,229万円の減収となり、診療収入全体では7,999万円（22.1パーセント）の減収となりました。

当期における京北病院事業の患者数及び収入額は、次のとおりです。

患者数及び収入額

月別 項目	入院		外来		収入額合計
	患者数	収入額	患者数	収入額	
平成21年	人	千円	人	千円	千円
4月	1,480	28,990	3,349	18,773	47,763
5月	1,389	25,354	2,990	17,597	42,951
6月	1,375	26,337	3,206	19,180	45,517
7月	1,518	29,564	3,463	20,306	49,870
8月	1,626	30,759	3,070	18,728	49,487
9月	1,377	27,938	3,184	18,441	46,379
合計	8,765	168,942	19,262	113,025	281,967
1日平均	48	923	157	919	1,842
前年度同期1日平均	48	1,075	167	1,322	34,807

備考1 営業日数は、入院 183 日、外来 123 日です。

2 入院の患者数及び収入額は、一般診療と療養診療の合計です。

3 外来の患者数及び収入額は、病院、診療所及び居宅サービス（訪問看護）の合計です。

4 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(参考) 入院・外来の詳細

区分	患者数	収入額
	人	千円
入院	8,765	168,942
一般診療	4,860	113,155
療養	3,905	55,787
外来	19,262	113,025
病院	15,992	87,575
黒田診療所	212	1,067
山国診療所	786	3,529
細野診療所	113	586
宇津診療所	262	1,439
居宅サービス	1,897	18,829

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	443,156	医 業 収 益	343,747
給 与 費	299,540	入 院 収 益	168,942
材 料 費	29,468	外 来 収 益	87,575
経 費	113,552	診 療 所 収 益	6,351
研 究 研 修 費	596	居 宅 サ ー ビ ス 事 業 収 益	18,829
医 業 外 費 用	8,192	そ の 他 医 業 収 益	62,050
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	8,170	医 業 外 収 益	59,811
雑 支 出	22	受 取 利 息 配 当 金	0
雑 損 失	0	そ の 他 医 業 外 収 益	59,811
		当 期 純 損 失	47,790
合 計	451,348	合 計	451,348

備考1 当期は、減価償却費を計上していません。

2 当年度減価償却予定額は、6,731 万円です。

(2) 貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	1,119,694	固 定 負 債	280,000
有 形 固 定 資 産	1,119,694	長 期 借 入 金	280,000
無 形 固 定 資 産	0	流 動 負 債	39,914
流 動 資 産	173,088	未 払 金	39,914
現 金 預 金	34,155	預 り 金	0
未 収 金	129,678	預 り 有 価 証 券	0
貯 蔵 品	8,753	資 本 金	1,207,849
前 払 費 用	381	自 己 資 本 金	740,614
前 払 金	121	借 入 資 本 金	467,235
保 管 有 価 証 券	0	剰 余 金	△ 234,981
		資 本 剰 余 金	297,515
		欠 損 金	532,496
合 計	1,292,782	合 計	1,012,782

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、7億1,353万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政状況を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
千円 489,266	千円 0	千円 22,031	千円 467,235

平成21年度前期京都市自動車運送事業業務状況

1 事業概況

自動車運送事業（市バス）は、きめ細やかに張り巡らせた路線のネットワークにより、市民生活に欠くことのできない身近な公共交通機関や、観光客の安価で便利な交通手段として、多様な都市活動を支える重要な役割を果たしており、高齢者や障害のある方への対応、地球環境への配慮など、人やまちにやさしい交通機関としてもその重要性を増しております。

しかしながら、バス事業を取り巻く経営環境は、少子高齢化や交通手段の多様化など社会経済状況の変化により利用者数が長期低落傾向にあり、景気の低迷や新型インフルエンザの影響も重なるなど、非常に厳しい状況にあります。

このような中、平成21年度前期は、平成20年12月に作成した「京都市自動車運送事業経営健全化計画案（骨子）」（以下「骨子」という。）に基づき、一般会計からの補助金を削減しながら黒字基調を堅持し、不良債務の解消を目指すという経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

(1) 経営健全化の取組

骨子に基づき、人件費・経費の抑制やバス車両の耐用年数見直しなど徹底したコスト削減に努めています。

一方、平成20年度決算では、本市自動車運送事業の資金不足比率は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」による経営健全化の基準となる20パーセントを大きく上回ることから、本市自動車運送事業は、同法に基づく経営健全化団体となる見込みです。こうした中、平成21年7月には、学識者や企業経営の専門家等で構成する「京都市バス・地下鉄事業経営健全化有識者会議」から、経営健全化策についての提言を受けました。この提言を踏まえた新たな経営健全化計画案の策定に向け、現在、取り組んでいるところです。

(2) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

骨子に掲げた増収・増収目標を達成するため、平成21年4月1日付けで企画総務部に「増収・増客担当部長」を設置し、強化した体制のもと取組を展開しています。

増客の取組については、カード乗車券販売促進の強化策として、山科・醍醐地域の観光推進と連携した利用促進を図るため、「京都観光一日乗車券」の利用範囲に京阪バス山科営業所管内の路線を加えた「京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】」の発売を平成21年5月から期間限定で開始しました。

また、昨年度に引き続き、学校の夏休み期間中、市バスを保護者同伴でご利用の場合に小学生2人までの小児運賃を無料とする「市バスe c o サマー」を実施したほか、大好評のうちに完売したオリジナルグッズ「バス型目覚まし時計」の第2弾を発売しました。

広告事業においても、平成21年4月から市バス専用一日乗車券カードの券面を新たに広告として活用するなど新規広告媒体の導入に努めました。

(3) 運輸成績

〔平成21年4月 1日から〕

区 分		当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)		183	183	-	-
営業キロ数 (km)		434.69	434.69	-	-
在籍車両数 (両)		765	765	-	-
使用車両数 (両)	一般路線	120,512 (659)	120,835 (660)	△ 323 (△ 1)	△ 0.3% (△ 0.2%)
	定期観光	425 (2)	444 (2)	△ 19 (0)	△ 4.3% (16.1%)
	合計	120,937 (661)	121,279 (662)	△ 342 (△ 1)	△ 0.3% (△ 0.2%)
走行キロ数 (km)	一般路線	14,722,730 (80,452)	14,715,068 (80,410)	7,662 (42)	0.1% (0.1%)
	定期観光	25,241 (138)	29,195 (160)	△ 3,954 (△ 22)	△ 13.5% (△ 13.8%)
	合計	14,747,971 (80,590)	14,744,263 (80,570)	3,708 (20)	0.0% (0.0%)
旅客数 (人)	一般路線	56,922,264 (311,051)	58,584,203 (320,132)	△ 1,661,939 (△ 9,081)	△ 2.8% (△ 2.8%)
	定期観光	11,948 (65)	13,118 (72)	△ 1,170 (△ 7)	△ 8.9% (△ 9.3%)
	合計	56,934,212 (311,116)	58,597,321 (320,204)	△ 1,663,109 (△ 9,088)	△ 2.8% (△ 2.8%)
旅客収入 (千円)	一般路線	9,028,985 (49,339)	9,335,645 (51,014)	△ 306,660 (△ 1,675)	△ 3.3% (△ 3.3%)
	定期観光	43,599 (238)	48,905 (267)	△ 5,306 (△ 29)	△ 10.8% (△ 10.8%)
	合計	9,072,584 (49,577)	9,384,550 (51,281)	△ 311,966 (△ 1,704)	△ 3.3% (△ 3.3%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

注2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

注3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年 4月1日から
平成21年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	8,500,945	自動車運送事業収益	11,206,139
営業費用	8,398,267	営業収益	9,889,830
保 存 費	581,435	運 送 収 益	9,024,482
運 転 費	3,695,391	そ の 他	865,348
管 理 費	3,136,133	営業外収益	1,316,309
減 価 償 却 費	985,308	他会計補助金	1,314,137
営業外費用	102,678	そ の 他	2,172
支 払 利 息	89,804		
雑 支 出	12,874		
当期純利益	2,705,194		
合 計	11,206,139	合 計	11,206,139

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	28,320,145	固 定 負 債	800,000
有形固定資産	28,292,219	他会計借入金	800,000
無形固定資産	11,232	流 動 負 債	10,427,737
建設仮勘定	5,694	一時借入金	9,600,000
投 資	11,000	未 払 金	282,723
流 動 資 産	1,571,161	預 り 金	186,133
現金預金	397,881	前 受 金	356,156
未 収 金	871,680	仮 受 金	2,725
貯 蔵 品	29,602	資 本 金	16,748,663
前 払 金	74,916	自 己 資 本 金	6,755,288
仮 払 金	197,082	借 入 資 本 金	9,993,375
		剰余金(欠損金)	1,914,906
		資 本 剰 余 金	10,884,347
		欠 損 金	△ 8,969,441
合 計	29,891,306	合 計	29,891,306

備 考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、203億4,704万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	11,149,783	0	1,156,407	9,993,376
合	11,149,783	0	1,156,407	9,993,376

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、96億円です。

平成21年度前期京都市高速鉄道事業業務状況

1 事業概況

高速鉄道事業（地下鉄）は、市域を東西南北に貫き、他の鉄道路線との接続による広域的なネットワークを形成するとともに、市内にきめ細やかに張り巡らせた市バス路線と合わせ、市民や観光客の大切な足として多様な都市活動を支え、本市交通の基幹となる役割を果たしています。

しかしながら、高速鉄道事業は一般に地下構造物の整備に巨額の費用を要する性格の事業であるため、債務を返済し、収支の採算を確保するには極めて長期間を必要とします。本市の高速鉄道事業は、開業後30年弱を経過した烏丸線はほぼ収支が均衡していますが、平成20年1月に全面開業した東西線は、建設時期が建設費高騰のバブル期と重なったこともあり、多額の建設費の償還に係る利息及び減価償却費等の負担が大きいうえ、東京都や大阪市と比べて都市の規模が小さいために、採算を取れる旅客数を確保することが極めて難しいといった要因が重なり、全国一厳しい財政状況となっています。さらに、景気の低迷や人口減少など、旅客数の大幅な増加が見込めない厳しい経営環境が今後も続くと考えられます。

このような中、平成21年度前期は、平成20年12月に作成した「京都市高速鉄道事業経営健全化計画案（骨子）」（以下「骨子」という。）に基づき、平成22年度に現金収支を黒字化し、不良債務の増加を抑制するという経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

(1) 経営健全化の取組

安全確保に万全を期すとともに、設備更新の適切な実施による高速鉄道事業のコスト削減を図るため、平成21年4月1日付けで、技術部門を統括する「技術長」を新設しました。

また、骨子に基づき、高金利建設企業債の借換による利息負担の軽減を図るとともに、地下鉄設備の更新期間を延長するなど徹底したコスト削減に努めています。

一方、平成20年度決算では、本市高速鉄道事業の資金不足比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」による経営健全化の基準となる20パーセントを大きく上回ることから、本市高速鉄道事業は、同法に基づく経営健全化団体となる見込みです。こうした中、平成21年7月には、学識者や企業経営の専門家等で構成する「京都市バス・地下鉄事業経営健全化有識者会議」から、経営健全化策についての提言を受けました。この提言を踏まえた新たな経営健全化計画案の策定に向け、国との協議なども行いながら、現在、取り組んでいるところです。

(2) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

骨子に掲げた増客・増収目標を達成するため、平成21年4月1日付けで企画総務部に「増収・増客担当部長」を設置し、強化した体制のもと、取組を展開しています。

増客の取組については、カード乗車券販売促進の強化策として、山科・醍醐地域の観光推進と連携した地下鉄の利用促進を図るため、「京都観光一日乗車券」の利用範囲に京阪バス山科営業所管内の路線を加えた「京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】」の発売を平成21年5月から期間限定で開始しました。また、地下鉄により親しみを持っていただき、

利用増につなげていくため、オリジナルグッズを新たに発売しました。

増収に向けた取組については、駅構内の有効スペースを活用した「駅ナカビジネス」や広告事業を引続き推進しました。「駅ナカビジネス」では、簡易型店舗の実施駅の拡大や、自動証明写真機の設置など、多様な展開を図りました。また、都心部に位置し、乗降客の多い四条駅について、より利便性の高い、賑わいのある駅を目指し、駅ナカビジネスに活用できる空間を創出するため、同駅のリニューアルを実施することとし、施設配置やデザイン、施工を一体的に行う事業者の募集を行いました。

広告事業においても、平成21年4月から市営地下鉄1dayフリーチケットの券面を新たに広告として活用するなど、新規広告媒体の導入に努めました。

(3) 運輸成績

〔平成21年4月 1日から
平成21年9月30日まで〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	44,932 (246)	44,946 (246)	△ 14 (△ 0)	△ 0.0% (△ 0.2%)
走行キロ数 (km)	10,256,411 (56,046)	10,256,213 (56,045)	198 (1)	0.0% (0.0%)
旅客数 (人)	60,672,050 (331,541)	61,202,381 (334,439)	△ 530,331 (△ 2,898)	△ 0.9% (△ 0.9%)
旅客収入 (千円)	11,414,149 (62,372)	11,576,071 (63,257)	△ 161,922 (△ 885)	△ 1.4% (△ 1.4%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

平成21年 4月 1日から
(平成21年 9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	21,025,665	高速鉄道事業収益	13,829,749
営業費用	11,667,415	営業収益	12,269,851
保存費	1,446,713	運輸収益	11,374,772
運転費	1,036,610	その他	895,079
運輸費	1,660,559	営業外収益	1,559,898
管理費	706,860	受取利息及び配当	142
減価償却費	6,816,673	他会計補助金	1,522,000
営業外費用	6,046,684	その他	37,756
支払利息	6,031,973		
雑支出	14,711		
特別損失	3,311,566		
その他特別損失	3,311,566		
		当期純損失	7,195,916
合 計	21,025,665	合 計	21,025,665

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	591,930,753	固定負債	173,737,136
有形固定資産	580,563,607	企業債	119,465,623
無形固定資産	11,217,165	その他固定負債	54,271,513
建設仮勘定	70,381	流動負債	41,239,733
投資	79,600	一時借入金	38,400,000
流動資産	1,681,135	未払金	647,933
現金預金	513,699	預り金	205,046
未収金	1,123,265	前受金	673,856
貯蔵品	13,557	仮受金	1,312,898
仮払金	30,614	資本金	465,283,781
繰延勘定	174,168	自己資本金	158,666,698
企業債発行差金	174,168	借入資本金	306,617,083
		剰余金(欠損金)	△ 86,474,594
		資本剰余金	225,013,273
		欠損金	△ 311,487,867
合計	593,786,056	合計	593,786,056

- 備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,901億3,435万円です。
- 2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	269,109,230	0	7,526,856	261,582,374
出資債	32,000	0	0	32,000
特例債	15,614,643	713,000	928,571	15,399,072
資本費負担緩和 分企業債	83,066,391	0	817,840	82,248,551
資本費平準化債	21,818,000	0	0	21,818,000
鉄道・運輸 機構借入金	57,218,032	0	2,946,519	54,271,513
長期借入金	45,308,600	0	305,890	45,002,710
合 計	389,640,264	713,000	9,273,267	381,079,997

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は384億円です。

平成21年度前期京都市水道事業業務状況

1 事業の概況

概況

当期有収水量は、前年度同期に比べ104万立方メートル（1.2パーセント）減少し、8,906万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、前年度同期に比べ3億40万円（2.03パーセント）減少し、144億6,903万円となりました。また、当期総収益は、156億6,450万円となり、一方、当期総費用は、76億3,768万円となりました。

建設改良事業は、上水道施設整備事業として、蹴上浄水場及び新山科浄水場での緊急遮断弁設置工事、松ヶ崎浄水場送水ポンプ取替え工事等を施工しており、幹線配水管の相互連絡管布設（延長1.8キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長11.6キロメートル）等を施工しました。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水 道 事 業 費 用	7,637,684	水 道 事 業 収 益	15,664,499
営 業 費 用	5,625,530	営 業 収 益	15,491,110
原 水 費	176,496	給 水 収 益	14,469,027
浄 水 費	1,402,845	他 会 計 負 担 金	43,407
配 水 及 び 給 水 費	2,137,178	そ の 他 営 業 収 益	978,676
業 務 費	1,344,305	営 業 外 収 益	173,389
総 係 費	564,048	受 取 利 息	16,485
資 産 減 耗 費	650	雑 収 益	156,904
そ の 他 営 業 費 用	8		
営 業 外 費 用	2,012,154		
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,010,969		
雑 支 出	1,185		
当 期 純 利 益	8,026,815		
合 計	15,664,499	合 計	15,664,499

- 備考 1 当期は、減価償却費を計上していません。
 2 当年度減価償却費予定額は、101億8,249万円です。
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	280,974,751	固 定 負 債	1,870,928
有形固定資産	276,322,928	引 当 金	919,018
無形固定資産	2,749,807	企業債償還積立金	951,910
投 資	1,902,016		
		流 動 負 債	1,665,510
流 動 資 産	12,700,692	一 時 借 入 金	0
現金預金	4,439,272	未 払 金	3
未 収 金	3,246,759	前 受 金	835,684
貯 蔵 品	287,183	預 り 金	629,823
保管有価証券	200,000	預り有価証券	200,000
仮 払 金	4,698		
短期貸付金	3,000,000	資 本 金	185,573,367
前 払 金	1,522,780	自 己 資 本 金	25,781,617
その他流動資産	0	借 入 資 本 金	159,791,750
繰 延 勘 定	25,455	剰 余 金	104,591,093
企業債発行差金	25,455	資 本 剰 余 金	91,295,863
		利 益 剰 余 金	13,295,230
合 計	293,700,898	合 計	293,700,898

- 備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,738億7,048万円です。
2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成21年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
企 業 債	163,785,087	2,446,000	5,487,427	160,743,660
合 計	163,785,087	2,446,000	5,487,427	160,743,660

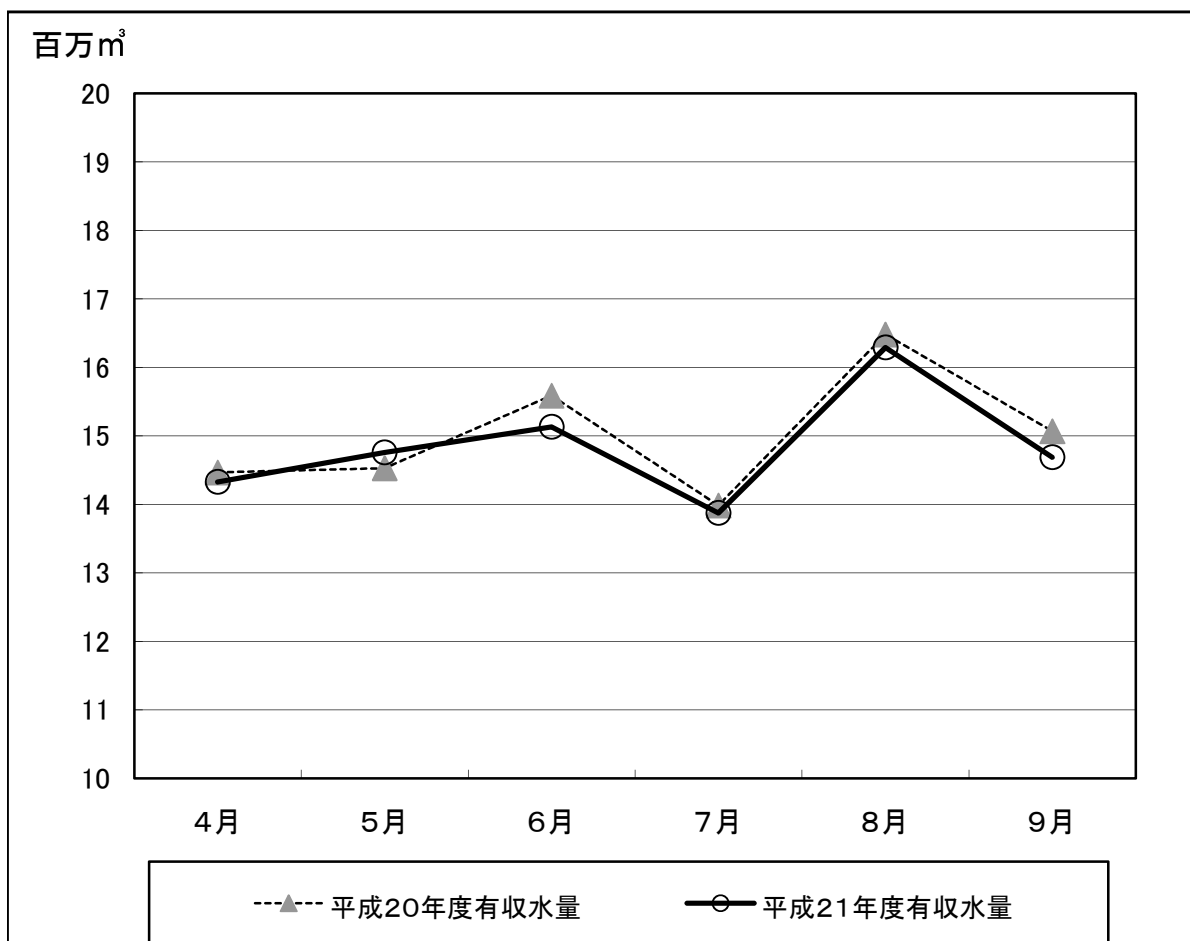
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
平成	m ³
21年 4月	14,327,178
〃 5月	14,756,219
〃 6月	15,132,586
〃 7月	13,872,989
〃 8月	16,289,470
〃 9月	14,686,425
合計	89,064,867
1日平均	486,693
前年同期1日平均	492,374



平成21年度前期京都市公共下水道事業業務状況

1 事業の概況

概況

当期有収汚水量は、前年度同期に比べ177万立方メートル（1.8パーセント）減少し、9,660万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、前年度同期に比べ4億144万円（3.01パーセント）減少し、129億2,623万円となりました。また、当期総収益は、210億7,067万円となり、一方、当期総費用は、103億6,690万円となりました。

建設改良事業について、管渠^{きよ}では、前年度に引き続き大手筋幹線、七条西幹線等の各幹線工事を施工しています。

ポンプ場では、前年度に引き続き羽束師ポンプ場で沈砂池設備の工事を施工しています。

終末処理場では、鳥羽水環境保全センターで前年度に引き続き流動炉焼却機械設備の工事を施工しています。また、伏見水環境保全センターで特高受電設備の工事を、石田水環境保全センターでCD系監視制御設備の工事を前年度に引き続き施工しています。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業費用	10,366,897	公共下水道事業収益	21,070,671
事業費用	4,954,438	事業収益	20,189,299
下水道維持費	996,485	下水道使用料	12,926,232
下水処理費	2,926,133	他会計負担金	7,073,436
業務費	710,444	その他事業収益	189,631
水洗便所普及 対策費	46,036		
総係費	275,340	事業外収益	881,372
資産減耗費	0	受取利息	13,889
事業外費用	5,412,459	他会計負担金	788,594
支払利息及び 企業債取扱諸費	5,411,077	他会計補助金	0
雑支出	1,382	雑収益	78,889
当期純利益	10,703,774		
合 計	21,070,671	合 計	21,070,671

- 備考 1 当期は、減価償却費を計上していません。
 2 当年度減価償却費予定額は、194億7,900万円です。
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	892,114,947	固 定 負 債	20,583,331
有形固定資産	888,448,737	企業債償還金	20,094,885
無形固定資産	3,625,850	引当金	488,446
投 資	40,360		
		流 動 負 債	625,519
流 動 資 産	12,115,862	未 払 金	498
現 金 預 金	4,325,814	前 受 金	280,358
未 収 金	2,709,429	預 り 金	139,663
保管有価証券	205,000	預り有価証券	205,000
短期貸付金	3,000,000		
仮 払 金	1,565	資 本 金	540,907,937
前 払 金	1,874,054	自 己 資 本 金	161,375,101
		借 入 資 本 金	379,532,836
繰 延 勘 定	79,724		
企業債発行差金	79,724	剰 余 金	342,193,746
		資 本 剰 余 金	333,583,608
		利 益 剰 余 金	8,610,138
合 計	904,310,533	合 計	904,310,533

- 備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,479億5,783万円です。
 2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成21年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
公共下水道 建設事業費公債	410,926,518	752,000	12,050,798	399,627,720
合 計	410,926,518	752,000	12,050,798	399,627,720

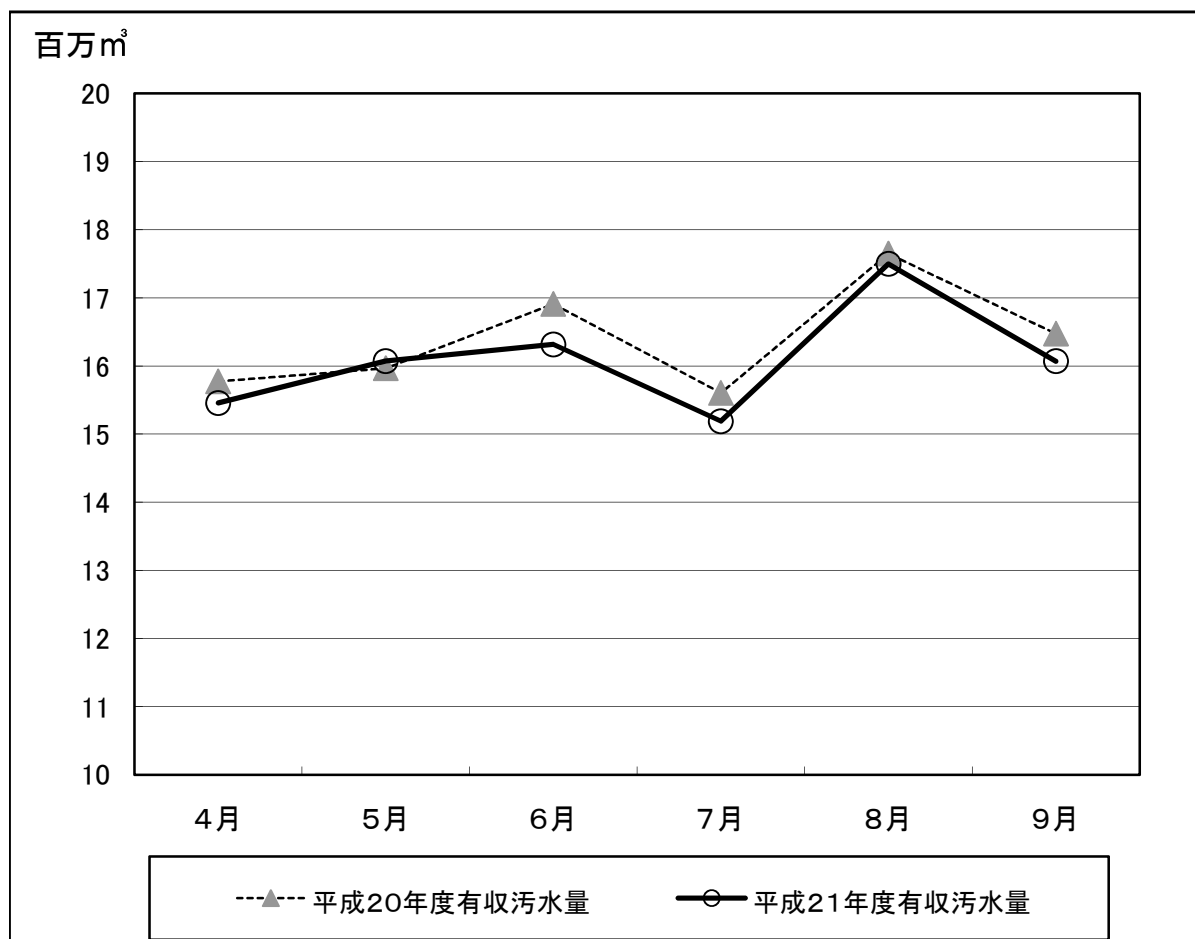
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
平成	m ³
21年 4月	15,455,135
〃 5月	16,071,954
〃 6月	16,316,332
〃 7月	15,187,562
〃 8月	17,497,269
〃 9月	16,069,100
合計	96,597,352
1日平均	527,854
前年同期1日平均	537,561



(行財政局総務部総務課)